

令和3年度 事業計画

社会福祉法人 伯耆町社会福祉協議会

令和3年度 社会福祉法人伯耆町社会福祉協議会事業計画

<重点事項>

1 地域福祉関係

- ① 住み慣れた地域で支えあい安心して暮らせる「福祉のまちづくり」を目指し、「我が事・丸ごと」の地域づくりの「我が事」に焦点を当て、支え合い・見守り体制づくりを地域の皆さんとともに進めていきます。とりわけ、今般のコロナウイルス感染症は、従来のコミュニケーションの取り方や個人の生活スタイルを大きく変えました。そうした変化を念頭においた地域づくりを考えていきたいと思います。
- ② 次世代を担う児童・生徒の福祉の精神を育むために、福祉体験の機会を提供することなど家庭や学校教育を補足できるよう、社会福祉協議会の持ち味である「実践」による福祉教育に取り組みます。
- ③ いつ起きるかわからない大規模災害において、社会福祉協議会に求められるボランティアセンター運営等に対応するため職員の資質向上、体制づくりに取り組みます。
- ④ 町から受託している生活困窮者自立支援事業は、生活困窮に瀕している方に寄り添い、社協のフットワークを生かしながら、社協だからできる生活再建への支援を行っていきます。

2 介護サービス関係

- ① 利用者の立場に立った質の高いサービスを提供するという原点を確認し、一人ひとりに求められるサービスは何かということを常に考えながら、職員の資質の向上に努めます。
- ② 関係法令、業務マニュアルの遵守、また関係機関等から適宜適切な情報収集を行いながら、安全で良質なサービス提供に努めます。
- ③ 厳しい経営環境の中にあっても、サービスの質を落とすことなく健全な経営ができるように、常に業務方法の改善、効率化に取り組みます。特に、今般のコロナ感染症は、私たち介護高齢者施設の運営にも大きな影響がありました。施設の職員・利用者の感染は、事業所の存続にも関わることになります。引き続き、徹底した感染予防に取り組みながら運営にあたります。

3 健康増進事業関係

- ① 健康を切り口にした地域づくりを推進するため、運動とコミュニティづくりに関係機関・団体と連携して取り組みます。
- ② フィットネス&スタジオパル (F&SP) は、オープンして5年目となります。昨年度は、思いがけないコロナの影響で会員数の大幅な減少があり、経営面では大変厳しい年でありました。全国的な傾向であるフィットネスジムに対するネガティブな印象は、簡単には収まらないとは思いますが、そうした中においても、新型コロナウイルス感染症とい

う外的な要因は受け止めつつ、徹底した感染予防に取り組むことで安全に配慮した運営をしていきます。

経営収支面では、現在の会員数（約 350 人）を確保し続けることがマイナス収支とならない大前提でありますので、そこを最低ラインにおいて会員増加への取組を図るとともに、徹底したコストカットに取り組みながら経営に当たります。

この事業は、伯耆町が仕組まれた町民の健康増進に関しての目玉事業であります。それを本会が実践者として担っているということですので、町からの期待に応えるべく、引続き努力をしていきます。

- ③ 3 年度目となる溝口テラソは、軽作業を通しての高齢者の居場所として、また運動、カラオケ、カフェについては、コロナ感染予防に取り組みながら町民の健康増進と地域福祉の推進に貢献できるよう運営します。

4 小規模保育事業関係

- ① 0 歳から 2 歳の低年齢児の健全な成長と保護者の子育て支援であることを念頭におき、法令及び伯耆町から示された業務仕様を遵守して適切な運営に当たります。
- ② 小規模保育所のメリットを存分に発揮できるよう、職員全員が共通の目標（こどもの最善の利益）をもって保育に取り組めます。
- ③ 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策には、保護者の理解を得ながら全職員徹底して取り組みます。

5 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策は、令和 3 年度における本会としての最重要課題であり、徹底した感染予防対策に取り組めます。

- ①職員・利用者等の感染予防対策（マスク着用・手洗い・アルコール消毒等）の徹底
- ②感染リスクを極力回避する行動（感染警戒地域への移動の自粛・三密の回避等）をとります。
- ③行政が実施する「ワクチン接種」については、特段の事情がない限り全職員・利用者への接種を進めていきます。

令和3年度事業説明資料

区分	事業区分		新規	継続	事業内容・実施方法	実施回数等	事業効果等
	事業名						
地域	愛の輪運動事業						
	福祉ネットワークづくり			○	福祉委員研修会の開催、愛の輪推進会議の開催	3	小地域ネットワークの構築・連携強化とキーパーソンの養成
	福祉委員活動助成			○	集落の福祉委員活動に対する助成を行なう。	79	福祉委員活動の推進、定着
	いきいきふれあいサロン			○	福祉委員に各集落公民館でサロンを開催して頂く。要請があれば職員も出向いていく。	85	高齢者の閉じこもり防止や安否確認、また集落内での情報共有などを目的に行う。
福祉事業	日常生活用具貸与事業				緊急通報用装置、車椅子の貸出	随時	通報装置：緊急時に迅速な対応ができる。独居高齢者や障がい者の方、又別居の親族に対して安心感を持って頂く。 車椅子：外出・通院等での短期使用をして頂く事で、通院等で使用される方並びにご家族等の負担軽減を図る。
	さわやか福祉事業						
	高齢者いきがい対策事業			○	独居高齢者の集い(実りの会)	6回	独居高齢者の閉じこもり予防や仲間づくりを目的として各種の研修・講習を行う。
				○	友愛訪問(75歳以上の独居高齢者訪問)を行う。対象者の誕生月を中心に訪問し、必要に応じて関係機関等と協力して支援にあたる。	通年	独居高齢者が増える中で、皆さんが日々どのような生活をしているのか、どのような思いがあるのか、実際に地域に向いて話を伺う。そうした声を事業に反映させていく。
				○	緊急カード、キーホルダーとキーフックの配布	通年	外出時の緊急対策として緊急連絡先を記載したカードを発行する。年1回は民生委員と協力して記載情報の確認も行う。 通算発行数607枚(R3.1末現在)
	福祉地域座談会				平成30年度から、その集落の実情に応じた座談会とするためにテーマを選んでもらい、質疑・意見交換を行っている(テーマ：①見守り活動、②交流活動、③独居・高齢者世帯への対応、④健康づくり)。また、開催集落全てで支え愛マップについて説明を行い、集落の見守り体制の構築を提案する。	30	テーマを開催集落に選んでもらうことにより、自分の住む集落でどのような取り組みが必要なのか考える一助とする。また、マップ作りを提案することにより、平常時からの見守り体制と緊急時の避難体制づくりへ繋げる。
	地域福祉活動計画				第3期地域福祉活動計画の進捗管理	随時	第3期地域福祉活動計画の進捗状況を確認しながら、より効果的、効率的な活動の展開を図る。
	困窮時食料支援事業				生活に困窮し、食料に困った方を対象に、食料(購入費用)援助を行う。	随時	食べるものがないという命に関わる相談があった場合、食料支援を行うことで対応を図ることができる。
				○	購入費用とは別にフードパートナー事業を行う。地域住民に食料品(主に米)の提供者(フードパートナー)となってもらい、食料の相談があった場合に提供して頂く。	随時	食べるものがない方を支援することができるとともに、地域住民に生活困窮の問題が身近にもあるのだと共有してもらうことができる。
	配食サービス事業				75歳以上の独居高齢者や高齢者世帯、身体に何らかの障害がある方に、週2回、配食弁当をお届けする。8月の配食は休止にするが、飲み物を持参して安否確認を行う(飲料提供：コカ・コーラ様)。調理・配達には、ボランティアの協力を得て行う。利用者増加に向け、広報誌や友愛訪問にてPRを行う。	2/週	栄養摂取と安否確認を目的に週2回(火・木)配食弁当をお届けする。8月の飲み物を持参しての訪問により、脱水や熱中症になっていないか、安否確認ができる。
	災害時における支え愛地域づくり推進事業				地域住民が主体となって行う災害時の対応を円滑に進めるため、平常時から行う支え合いのまちづくりに対し助成を行う(わが町支え愛マップ推進事業から事業名が変更)。	9件	災害時の体制、平常時の見守り体制等の普及を促進する。

令和3年度事業説明資料

区分	事業区分		新規	継続	事業内容・実施方法	実施回数等	事業効果等
	事業名						
地域福祉	ボランティア推進事業						
	ふくしの集い		○	地域での様々な問題や課題に対して、一人ひとりに何ができるか、これからの地域づくりを一緒に考える場として「ふくしの集い」を開催する。	1	地域住民の力を集結して数々の先進的な取り組みに挑戦し、全国の社協の地域福祉モデルとして活動展開されている豊中市社協から講師を招き、そのノウハウを学び、少しでも多くの地域住民が同じ視点、同じ思いで一緒に活動できる仕組みづくりに繋げる。	
	配食サービス活動助成		○	配食サービスのボランティアの方々へ活動助成を行う。	210人	助成を行うことで、ボランティア活動を円滑に行うことができる。	
	ボランティア広報		○	ボランティアセンターの活動方針、活動内容について広報誌を発行する。	1	ボランティアセンターの活動方針・活動内容を広報誌にすることで、ボランティアセンターの存在とボランティア活動への興味を広く町民の皆さんに持っていただく一助とする。	
	ボランティア交流会	○		ボランティアセンターに登録している個人ボランティアの方同士の交流と意見交換の場を作る。	1	これからどのようなボランティアをおこなっていくか、ボランティアに参加する方自身の意見を伺いながら活動の方向性を決めていく。それにより、より自主的な活動につなげることができる。	
	福祉教育		○	町内小・中学生を対象に夏休みや総合的な学習の時間を利用して福祉関連体験学習を実施する。	通年	様々な福祉体験、多様な人との関わりのなかで将来の地域を担う子どもたちの福祉意識の醸成を図る(車椅子体験・高齢者疑似体験・福祉について学ぶ・福祉センター見学・デイサービス交流会・配食サービス体験など)。夏休み期間中は、小中学生を対象に公民館事業(お楽しみ体験)に社協事業(ふくし体験)として4事業を実施する。	
	共同募金配分金事業						
	おせち配布		○	年末に、ひとり暮らし高齢者等におせちを配布する。	1回	心温まる正月をむかえていただくとともに、歳末募金の啓発とする。	
	広報啓発活動		○	広報を年5回発行し、情報提供・福祉啓発を行う。令和2年度からページ数を6ページから8ページに変更した。ホームページでも常に新たな情報を提供していく。	5回	広報活動による情報提供や情報収集を行うことで本会事業や福祉活動に理解を得ることができる。また、地域の福祉活動を紹介することにより、他集落の活動の様子を知って頂くことができる。	
	集落助成事業		○	集落での世代間交流事業等に助成を行う。	2件	共同募金の啓発、地域福祉の促進	
事業	はつらつ教室		○	軽度認知症及びその疑いのある方に対して5教室(それぞれ毎月2回)の予防教室を実施する。	120回	認知症予防、心身ともに元気で過ごしてもらう生活習慣づくり	
	福祉サービス利用援助事業		○	認知症高齢者等のうち判断能力が不十分な人が自立した日常生活を送ることができるよう、福祉サービスの利用援助等を行う。	随時	利用者が自立した日常生活を送るために援助を行い、生活基盤の安定を図る。	
	生活困窮者自立相談支援事業		○	生活困窮者の課題を聞き取りし、ニーズを把握する。アセスメントに基づいたプランを作成し、相談者に寄り添いながら課題解決を図っていく。	随時	様々な要因が重なり合い生活に困窮している方に寄り添いながら支援することで、早期の課題解決を図り、自立して生活することができる。	
	生計困難者に対する相談支援事業(えんくるり事業)		○	深刻な生活課題の解決に向け、既存制度では対処できない事案に対して関係機関と協力して支援をする。必要に応じて、経済的支援を行うこともできる。鳥取県社会福祉協議会を基幹として、県内社会福祉法人と共同で行う。	随時	県内社会福祉法人と協同して生活に困った方に対して支援を行うことで、既存制度では対処できない課題を解決することができる。	
	高齢者ワーキングコミュニティ事業		○	65歳以上の会員を募り、地元企業から受注した軽作業をしてもらう。	通年	高齢者の働く場をつくり、収入を得ながら健康増進スペースを利用して介護予防に取り組む。	

令和3年度 介護サービス事業 事業計画及び会計予算

(単位:千円)

事業名		岸本通所介護事業							
前年度 当初予算額	本年度 予算額	財源内訳							
		居宅介護料収入		生活支援・総合事業収入		利用者等利用料収入			雑収入
		介護報酬 収入	介護負担 金収入(公 費含む)	事業費収 入	事業負担金 収入(公費 含む)	食費収入	事業利用 者食費	いきいきデ イサービス 収入	
69,529	69,781	53,059	5,895	4,900	545	3,936	800	616	30

・介護保険通所介護事業、日常生活支援事業総合事業を行う。

【事業概要】要介護・要支援の認定を受けた利用者及び事業対象者に、適切な介護を提供し、自立支援を助け、家族支援を行い、その在宅生活が継続出来るようにする。

＜対象者＞ 介護認定申請の結果、要介護及び要支援の認定を受けた方。

＜自己負担＞ 介護給付額の自己負担割合に応じた額を負担。また、昼食等にかかる費用として600円徴収。

※介護給付額は介護度及びサービス提供時間・内容により異なる。

※平成27年度より、中重度者ケア体制加算を実施。

※サービス提供体制加算(Ⅰ)口、令和2年度から介護職員処遇改善加算(Ⅴ)を実施。

【令和3年度 利用者数の年間目標:上段は令和2年実数、()は実利用者数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
令和2年度	1,312(11.5)	2,722(19.3)	927(5.8)	562(2.9)	409(2.7)	5,932(42.2)
令和3年度	1,832(14.7)	1,972(15.4)	930(6.4)	570(3.1)	310(2.2)	5,614(41.8)
	事業対象	要支援1	要支援2	計		
令和2年度	119(2.3)	157(3.3)	1,075(12.5)	1,351(18.1)		7,283(60.3)
令和3年度	138(3.4)	240(5.7)	1,436(15.2)	1,814(24.3)		7,428(66.1)

【収入】 ①介護報酬・事業費収入 57,959 千円(介護53,059千円+総合事業4,900千円)

②介護・事業負担金収入 6,440 千円(介護5,895千円+総合事業545千円)

③介護・事業利用者食費収入 4,736 千円(介護3,936千円+総合事業800千円)

④いきいきデイサービス収入 616 千円(食費含む)

⑤雑収入 30 千円

計 69,781 千円

【支出】 ①人件費支出 57,326 千円 (正職 6名、有期フル6名、短時間 13名)

②事業費支出 10,886 千円

③事務費支出 559 千円

④負担金支出 40 千円

⑤支払利息支出 30 千円

⑥リース債務返済支出 940 千円

計 69,781 千円

令和3年度岸本通所介護事業所行事予定

実 施 月	行 事 名	行 事 予 定	ボ ラ ン テ ィ ア 参 加 者
4月	上 旬 屋 外 活 動	昼食後、桜の名所に春の桜見物に出かける。(レク時間・6日間)	
	中 旬 ク ッ キ ン グ レ ク	ティータイムのお菓子「さくらもち」を作る。(レク時間・2日間)	
	下 旬 花・野菜の種まき	デイサービス花壇に花や野菜の種をまく。(夏や秋に収穫した野菜は昼食の食材として試食する)	
5月	上 旬 春 の お 茶 会	ボランティアによる抹茶の接待 (レク時間・1日間)	抹茶接待のボランティア(1日あたり3人)
	中 旬 屋 外 活 動	昼食後、花回廊などに季節の花見に出かける。(レク時間・6日間)	利用者介助ボランティア(1日あたり5人)
	下 旬 避 難 訓 練	利用者を対象に火災を想定した避難訓練の実施。(レク時間・1日間)	
6月	上 旬 笹 ま き 作 り	利用者が4班に分かれ1人2個ずつ笹まきを作る (レク時間・2日間)	
	下 旬 健 康 講 話	利用者を対象に「夏の健康管理」について講話。(レク時間・3日間)	仲村医師又は看護師
7月	上 旬 七 夕 交 流 会	中学校職場体験の学生と七夕祭を催し、交流を図る。	中学生職場体験
	時期未定 ボランティア体験	夏休みを利用しての小、中、高の介護実習体験。	学生ボランティア
	下 旬 お 好 み メ ニ ュ ー	昼食に数品の中からお好みのメニューを選んで召し上がっていただく。(昼食・3日間)	
8月	上 旬 夏 祭 り	夏祭りの雰囲気味わってもらう為、盆踊り、屋台等を実施(レク時間・2日間)	学生ボランティア
9月	上 旬 ふくしの集い作品展展示	手作業で作った個人作品や共同作品を展示、紹介	
	中 旬 敬 老 会	敬老を慶び、昼食に「長寿お祝い御膳」、レク時間に演芸の披露(レク時間3日間)	演芸会出演ボランティア
10月	上 旬 屋 外 活 動	昼食後、紅葉見物(レク時間・6日間)	
	中 旬 口 腔 ケ ア	利用者を対象に「口の中の衛生」について講話と口腔ケア指導(レク時間・1日間)	歯科衛生士(米子保健所)
11月	上 旬 ク ッ キ ン グ レ ク	「たこ焼き」「お好み焼き」などのアツアツのおやつを作り、みんなで試食する。(レク時間・2日間)	
	中 旬 秋 の お 茶 会	ボランティアによる抹茶の接待 (レク時間・1日間)	抹茶接待のボランティア(1日あたり3人)
	下 旬 防 災 ・ 消 防 訓 練	利用者、職員を対象に災害を想定した避難訓練等の実施(レク時間・1日間)	
12月	上 旬 東みづほ幼稚園交流会	東みづほ幼稚園児と交流を図る(レク時間1日間)	東みづほ幼稚園児
	上 旬 こしき保育所交流会	こしき保育所児童と交流を図る(レク時間1日間)	こしき保育所児童
	中 旬 ク リ ス マ ス 会	1年の締めくくりとして、「クリスマスランチ」の昼食、午後は演芸会を開催(レク時間3日間)	演芸会出演ボランティア
	中 旬 SUT合唱団コンサート	SUT合唱団による、クリスマスコンサートを開催。	
1月	上 旬 新 年 会	利用者が1年間笑顔で過ごせることを祈り、新年会を開催(レク時間2日間)	
	下 旬 お 好 み メ ニ ュ ー	昼食に数品の中からお好みのメニューを選んで召し上がっていただく。(昼食・3日間)	
2月	上 旬 豆 ま き	豆まきを行って節分を楽しむ。(レク時間・2日間)	
	中 旬 ク ッ キ ン グ レ ク	ティータイムのお菓子、バレンタインデーにちなんだ手作りケーキ作り。(レク時間・2日間)	
3月	上 旬 ひ な 祭 り	ひな祭りにちなんだ作品作り。(レク時間)	
個 別 レ ク	午前レクは、主に塗り絵、手作業、計算などで脳の活性化を目指す。毎月、押し花・歌唱指導・隔月で日赤ボランティアも訪問され交流を図る。		
午 後 レ ク	集団ゲームを中心に、交流と身体機能低下の予防を図る。また、不定期でハーモニカ演奏、隔月でギターライブなどの個人ボランティアが訪問され、交流を図る。		
運 動 ・ 体 操	午前レクの後、午後レクの前に、体操、運動を行い、身体機能低下の予防を図る。		
口腔ケア・体操	食前に口腔体操、食後に口腔ケアを行い、口腔機能の維持向上を目指す。		

令和3年度

介護サービス事業 事業計画及び会計予算

(単位:千円)

事業名		溝口通所介護事業							
前年度	本年度	財源内訳							
		居宅介護料収入		生活支援・総合事業収入		利用者等利用料収入			雑収入
		介護報酬収入	介護負担金収入(公費含む)	事業費収入	事業負担金収入(公費含む)	食費収入	事業利用者食費	いきいきデイサービス収入	
当初予算額	予算額								(前期末支払資金残高・研修費)
53,415	56,358	41,668	5,116	4,465	495	3,844	740	0	30

・介護保険通所介護事業、生活支援・総合事業を行う。

【事業概要】 要介護及び要支援(総合事業)の認定を受けた利用者に、適切な介護を提供し自立支援を助け家族支援を行い、その在宅生活が継続出来るようにする。

＜対象者＞ 介護認定申請の結果、要介護及び要支援(総合事業)の認定を受けた方。

＜自己負担＞ 介護給付額の自己負担割合に応じた額を負担。また、昼食等にかかる費用として600円徴収。

※介護給付額は介護度及びサービス提供時間・内容により異なる。

※サービス提供強化加算Ⅰ(ロ)、令和2年度より、処遇改善加算を実施。

【令和3年度 利用者数の年間目標:上段は令和2年度実数()は実利用者数平均】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
令和2年度	1,515(12)	3,077(23)	530(5)	425(3)	225(1)	5,772(44)
令和3年度	2,267(17)	3,014(19)	566(4)	110(2)	170(1)	6,127(43)
	事業対象者	要支援1	要支援2	計		介護・支援合計
令和2年度	165(2)	250(8)	1,000(20)	1,415(30)		7,187(74)
令和3年度	286(4)	142(3)	790(10)	1,218(17)		7,345(60)

【収入】	①介護報酬・事業費収入	46,133 千円(介護41,668千円+総合事業4,465千円)
	②介護・事業負担金収入	5,611 千円(介護5,116千円+総合事業495千円公費含む)
	③介護・事業利用者食費収入	4,584 千円(介護3,844千円+総合事業740千円)
	④雑収入	30 千円(雑収入20千円+研修費10千円)
	⑤前期末支払資金残高充当額	0 千円
	計	56,358 千円

【支出】	①人件費支出	47,853 千円 (正職5名、フルタイム4名、短時間 11名)
	②事業費支出	7,934 千円
	③事務費支出	394 千円
	④負担金支出	40 千円
	⑤支払利息支出	6 千円
	⑥リース債務返済支出	131 千円
	計	56,358 千円

令和3年度 溝口通所介護事業所(行事)予定

実施日		行事名	行事内容	実施日数
4月	上旬	お花見(開花や天気による)	伯耆町内や小学校の桜を午後レク時間にお花見に出かける。	6日
5月	上旬	端午の節句	こいのぼり作り等をして作品展示を行う。	3日
	19日前後	創立記念(5月19日)	デイサービス創立28周年。昼食は特別メニューでお祝いする。	6日
6月	上～中旬	春の屋外活動	地域ボランティア協力のもと花回廊に出かけ、外出や買い物を楽しむ。	5日
7月	上旬	七夕まつり	昼食は七夕特別メニュー。午後レクで利用者職員芸や短冊の披露をする。	6日
9月	下旬	敬老会	敬老会として昼食は特別メニューでお祝いする。	6日
10月	中旬	秋の屋外活動	地域ボランティア協力のもと花回廊に出かけ、外出や買い物を楽しむ。	5日
11月	下旬	☆お楽しみレストラン	昼食がセレクトメニューで、利用者が5品の中から好きな定食を選んで食べる。	6日
12月	中旬	クリスマス会	クリスマスメニューやプレゼント配布。午後はボランティアを依頼しクリスマス会を開催する。	5日
1月	上旬	新年会	ボランティアを依頼し演芸会を開催する。	3日
2月	上旬	節分行事	節分豆まき(紅白ボール)を使った鬼退治ゲームを行う。	3日
	中旬	だんだんまつり見学	午後レクの時間に、だんだんまつり[文化センター]に見学に行く。	1日
	下旬	たたらまつり見学	午後レクの時間に、たたらまつり[二部公民館]に見学に行く。	1日
3月	上旬	ひな祭り	ひな人形飾りを作って展示し、ひな祭りにちなんだゲームを行う。	3日
	20日(祝)	彼岸市	午後レクの時間に、彼岸市の散策に出かける。	1日
	21日頃	溝口公民館まつり	午後レクの時間に溝口公民館まつり見学に行く。利用者の作品も展示する。	1日
年間		小学校等との交流会	地域福祉の事業とも協力して、小学校児童等との交流会を行う。	適時
常設展示		利用者作品展	利用者の作品の発表の場をつくり、センター来所の町民の方々にも作品を見ていただく。	
毎日午前		手作業、自主運動、マッサージ	午前のレクは作品作りやボランティア交流や自主運動、マッサージ等行う。	
毎日午後		訓練室レクリエーション	午後のレクは体操や集団ゲームで楽しく体を動かし、身体機能低下を予防する。	
毎日昼食前後		口腔体操・口腔ケア	食前に口腔体操、食後に口腔ケアを行うことで口腔機能の維持向上を目指す。	

(単位:千円)

事業名		岸本身体障害者デイサービス介護事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財 源 内 訳			
		自立支援給付費収入	利用者負担金収入	受託事業収入	その他
2,346	2,626	2,246	30	350	0
・障害福祉サービス事業を行う。					
【事業概要】					
＜対象者＞ 身体障害者及び障害児					
＜自己負担＞ 食事代 300円					
【令和2年度 利用者数の年間目標:上段は令和2年度実数見込】					
		実人数	のべ人数		
令和2年度		3	340		
令和3年度		3	340		
※令和3年度は、令和2年度数字の100%を目標数字にしています。					
【収 入】					
①自立支援給付費収入		2,246 千円			
②利用者負担金収入		30 千円			
③受託事業収入		350 千円			
計		2,626 千円			
【支 出】					
①人件費支出		2,256 千円			
②事業費支出		370 千円			
③事務費支出		0 千円			
計		2,626 千円		(当期資金収支差額 0千円)	

事業名		溝口身体障害者デイサービス介護事業			
前年度 予算額	本年度 予算額	財 源 内 訳			
		自立支援給付費収入	利用者負担金収入	受託事業収入	その他
1,697	1,659	1,594	65	0	0
・障害福祉サービス事業を行う。					
【事業概要】					
＜対象者＞ 身体障害者及び障害児					
＜自己負担＞ 食事代 300円					
【令和3年度 利用者数の年間目標:上段は令和2年度実数見込】					
		実人数	のべ人数		
令和2年度		1	216		
令和3年度		1	216		
※令和3年度は、100%を目標数字にしています。					
【収 入】					
①自立支援給付費収入		1,594 千円			
②利用者負担金収入		65 千円			
③受託事業収入		0 千円			
計		1,659 千円			
【支 出】					
①人件費支出		844 千円			
②事業費支出		815 千円			
③事務費支出		0 千円			
計		1,659 千円 (当期資金収支差額 0千円)			

令和3年度

介護サービス事業 事業計画及び会計予算

(単位:千円)

事業名	溝口訪問介護事業							
前年度	本年度	財 源 内 訳						
予算額	予算額	居宅介護料収入		生活支援・総合事業収入		その他の事業収入		受託金収入
		介護報酬収入	介護負担金収入(公費含む)	事業費収入	事業負担金収入(公費含む)	補助金事業収入	にこにこヘルプ収入	
20,924	18,813	8,973	1,076	5,403	608	2,400	78	275

・介護保険訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業を行う。

【事業概要】 要介護及び要支援の認定を受けた利用者や、非該当の方に、適切な介護や生活援助を提供し、可能な限り自立した日常生活を送ることが出来るように支援していく。また、単独生活支援事業を実施する。さらに町の見守り事業を受託する。

＜対象者＞ 介護認定申請の結果、要介護及び要支援の認定を受けた方、非該当で支援が必要な方。

＜自己負担＞ 介護保険、介護予防・日常生活支援総合事業の利用の方は、介護給付額の自己負担割合に応じた額を負担することになります。単独生活支援事業の利用の方は実費になります。昨年度から町単独加算を充当する。

※介護給付額はサービス提供時間・内容により異なる。

【令和3年度 利用者数の年間目標:上段は令和2年度実数見込】

	要介護		
	身体介護	生活援助	乗降介助
令和2年度	269	9	30
令和3年度	277	9	31

	総合事業					
	I	II	III	IV	V	VI
令和2年度	15	51	48	38	65	33
令和3年度	15	53	49	39	67	34

※令和3年度は、令和2年度数字の介護保険103%、介護予防・日常生活支援総合事業は103%を目標としています

【収 入】	①介護報酬・事業費収入	14,376 千円(介護8,973千円+総合事業5,403千円)
	②介護・事業負担金収入	1,684 千円(介護1,076千円+総合事業608千円 公費含む)
	③その他の事業収入	2,478 千円(補助金2,400千円、単独事業78千円)
	④受託金収入	275 千円
	計	18,813 千円

【支 出】	①人件費支出	16,613 千円 (正職1名、有期フル1名、短時間8名)
	②事業費支出	1,699 千円
	③事務費支出	327 千円
	④負担金支出	22 千円
	⑤支払利息支出	7 千円
	⑥固定資産取得支出	0 千円
	⑦リース債務返済支出	145 千円
	計	18,813 千円

事業名	溝口障害者居宅介護事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		介護報酬収入	利用者負担金収入	受託事業収入	その他
3,549	3,003	2,706	0	297	0

・障害福祉サービス事業を行う。

【事業概要】
 <対象者> 身体、精神、知的、児童の障害者及び障害児
 <自己負担> 世帯収入の高い方(現在はなし)

【令和3年度 利用者数の年間目標:上段は令和2年度実数見込】

	障害区分			
	身体	精神	知的	児童
令和2年度	30	56	2	0
令和3年度	33	62	3	0

※令和3年度は、令和2年度数字の110%を目標数字にしています。

【収入】

①介護報酬収入	2,706 千円
②利用者負担金収入	0 千円(世帯収入の高い方)
③受託事業収入	297 千円
計	3,003 千円

【支出】

①人件費支出	2,428 千円 (短時間2名)
②事業費支出	460 千円
③事務費支出	113 千円
④負担金支出	2 千円
計	3,003 千円 (当期資金収支差額 0千円)

事業名	移送サービス事業						
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳					
		利用料収入					
109	116	116					

・移送サービス事業を行う。

【事業概要】
 <対象者> 要介護1以上の認定を受けた方、障害の方
 <自己負担> 輸送料金として 町内200円 町外は5km毎に200円

【令和3年度 利用者数の年間目標:上段は令和元年度実数見込】

	区分						
	町内	5km未満	5~10km	10~15km	15~20km	20~25km	25~30km
令和2年度	43	0	12	24	17	0	0
令和3年度	43	0	12	24	17	0	0

※令和3年度は、令和2年度数字の100%を目標数字にしています。

【収入】

①利用料収入	116 千円
計	116 千円

【支出】

①人件費支出	8 千円
②事業費支出	108 千円
③事務費支出	0 千円
計	116 千円 (当期資金収支差額 0千円)

令和3年度 介護サービス事業

事業計画及び会計予算

(単位:千円)

事業名	居宅介護支援事業 (ケアマネージャー)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		居宅介護支援 介護料収入	その他の事業収入 (受託収入)	その他の事業収入 (その他の事業収入)	その他 (前期末支払資金残高)
19,153	22,426	20,775	1,551	100	0
(事業内容の説明)					
○介護保険事業					
ケアマネージャーは要介護者(要支援者)が居宅で介護サービスを適切に利用できるように 様々な手続きを行なってサポートする。					
【事業概要】					
1. 居宅介護支援サービスの提供					
・居宅サービス計画の作成					
・要介護認定の申請及び変更の代行					
・給付管理票の作成及び提出					
・情報提供、連絡、調整					
<職員数> 4.2人(専任 4名、兼任 1名)					
<目標数> 給付管理業務月間実人員 要介護者 計 110人					
		要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4
		25人	50人	20人	10人
					5人
【収入】					
○介護給付費					
(月間) 要介護 1、2 1人 10,570 円 × 75人 = 792,750 円					
要介護 3、4、5 1人 13,730 円 × 35人 = 480,550 円					
介護報酬加算(特定、初回、入院) 458,000 円					
(年間) 1,731,300 円 × 12か月 = 20,775,600 円①					
○受託事業					
1. 要支援認定者介護予防ケアマネジメントの受託					
<目標数> 給付管理業務月間実人数 要支援者 計30人					
<事業費>					
(月間) 1人 4,310 円 × 30人 = 129,300 円					
(年間) 129,300 円 × 12か月 = 1,551,600 円②					
2. 認定調査					
<目標数> 月間3人					
<事業費>					
(月間) 1人 2,772 円 × 3人 = 8,316 円					
(年間) 8,316 円 × 12か月 = 99,792 円③					
合計①+②+③ 22,426,992 円					
【支出】					
①人件費支出 16,725 千円(正職4)					
②事業費支出 672 千円					
③事務費支出 493 千円					
④支払利息支出 26 千円					
⑤リース債務返済支出 560 千円					
⑥拠点区分間繰入金支出 284 千円					
合計 18,760 千円					

(単位:千円)

事業名 介護予防受託事業(水中運動教室)					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		町受託金収入			
2,002	1,922	1,922			
(事業内容の説明) 町の健康づくり事業の一環である、ゆうあいパル内のプールを使用した水中運動教室を町から受託し実施する。 (事業概要) 町民の運動不足解消、生活習慣病予防を主な目的とした水中運動教室。 下記の3プログラム(①～③)を実施する予定。 【各プログラムとも、1期10回とし4期実施、定員は各期10名】 ①水中ジョギング教室 (月曜日コース) 内容:水中ジョギングを基本とした運動プログラムで水中ウォーキングからのステップアップ ②水中ウォーキング教室 (火曜日コース) 内容:水中歩行を基本とした運動プログラムで体力・機能向上を目的とする。 ③ビヨンドミラクルアクア教室 (金曜日コース) 内容:道具を使用したり、アクアダンスを取り入れた有酸素系運動プログラムで脂肪燃焼・体力向上を目的とする。 (収支予算) 【収入】 ①町受託金収入 1,922 千円 合計 1,922 千円 【支出】 ①人件費支出 757 千円(パルの水中担当スタッフ賃金に充当) ②事業費支出 725 千円(プログラム使用料 他) ③事務費等支出 209 千円(スタッフ研修費 他) ④繰入金支出 231 千円(法人運営事業へ繰入) 合計 1,922 千円 当期資金収支差額 0 千円					

令和3年度

事業計画及び会計予算

(単位:千円)

事業名		小規模保育事業(こどもパル)			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		事業収入 (利用料収入)	町受託収入		
28,902	26,893	26,782	111		

(事業内容の説明)

伯耆町指定管理により、小規模保育所(こどもパル)を運営管理する。

●施設概要

①名称:伯耆町立小規模保育所 こどもパル

②事業形態:小規模保育所(「B型」)

③定員:19名

④施設敷地面積:899.93㎡

⑤建物構造:木造平屋 (床面積 274.1㎡)

⑥附属施設:専用駐車場 712㎡

●職員配置

所長:1名(町派遣)

保育士:5名(内1名は町派遣)

保育補助:6名

調理員:1名 調理補助員:2名

嘱託医師:1名 嘱託歯科医師:1名

(収支予算)

【収入】

①町指定管理料	29,214 千円
②その他(職員副食費)	313 千円
計	29,527 千円

【支出】

①人件費支出	22,397 千円
②事業費支出	5,918 千円
③事務費等支出	658 千円
④繰入金支出	554 千円(法人運営事業へ)
合計	29,527 千円

令和3年度

事業計画及び会計予算

(単位:千円)

事業名		高齢者ワーキングコミュニティ事業(WCS)			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		事業収入 (手数料収入)	繰入金収入		
1,772	1,612	1,176	436		
(事業内容の説明) 町の策定した「ワーキングコミュニティスペース(略称「WCS」)事業」計画に沿って溝口分庁舎空きフロア(4～5階)の内部を改修し仕事と運動が両立できる施設となる。この高齢者ワーキングコミュニティ事業では、4階を使用して会員(65歳以上)への仕事を提供・管理を行う公益事業として運営する。 (施設概要) 仕事施設(4階) (403.46㎡) (内容:ワーキングスペース) (事業概要) ①仕事受注に関する営業及び調整 ②会員への仕事提供及び労務管理 ※仕事の対価は単価により計算し配分金として個々に支払う ③その他運営に必要な事業 (収支予算) 【収入】 ①事業収入 1,176 千円(令和1年11月～令和2年10月までの平均により算出) ②繰入金収入 436 千円(溝口健康増進事業からの繰入) 合計 1,612 千円 【支出】 ①人件費支出 0 千円(※責任者1名伯耆町から派遣) ②事業費支出 1,450 千円(消費税 47千円、法人税 0千円) ③事務費等支出 162 千円 ④繰入金支出 0 千円 合計 1,612 千円 当期資金収支差額 0 千円					

令和3年度

事業計画及び会計予算

(単位:千円)

事業名		岸本健康増進事業(フィットネス&スタジオ パル)			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		事業収入 (利用料収入)	町受託収入		
34,810	26,893	26,782	111		
(事業内容の説明) 町の策定した「ほうき健康経営プロジェクト事業」計画に沿って開業したスポーツジム(フィットネス&スタジオ パル)を収益事業として自主運営する。 ●施設概要 ①ジムエリア (117.69㎡) マシン20台設置 【マシン内容:有酸素マシン8台、筋トレマシン7台、ストレッチマシン3台、振動マシン2台】 ②スタジオエリア (106.58㎡) 1室 ※スタジオ内にはバーチャルレッスン用スクリーン等有 ③更衣室、ホール、ギャラリー、事務室 ●主な事業内容 ①会員獲得のための販売促進 ②スタジオレッスン指導(主にラディカルフィットネス) ※令和3年1月より、バーチャルレッスン(映像プログラムレッスン)開始 ③運動指導(マシントレーニング、ショートレッスン他) ④パルひろば等を活用したイベント開催 ⑤その他運営に必要な事業					
(収支予算) 【収入】 ①利用料収入 26,782 千円 ※会員数(フィットネス) 350名/月平均、(カルチャー) 各20名/月平均で算出 ②町受託収入 111 千円 ※特定保健指導を受けた町民を対象とした運動提供(年間5名利用見込み) 合計 26,893					
【支出】 ①人件費支出 9,705 千円(フルタイム2名(内1名テラソ兼務)、パート4名) ②事業費支出 11,289 千円(消費税 1,223千円、法人税326千円計1,549円含む) ③事務費等支出 2,788 千円 ④繰入金支出 1,426 千円(福祉センター指定管理事業1,000千円・法人運営事業426千円) 合計 25,208 千円					
当期資金収支差額 1,685 千円					

令和3年度

事業計画及び会計予算

(単位:千円)

事業名		溝口健康増進事業(WCS)			
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		事業収入 (利用料収入)	町補助金収入	雑収入	
10,004	9,131	5,294	3,651	186	
(事業内容の説明) 町の策定した「ワーキングコミュニティスペース(略称「WCS」)事業」計画に沿って溝口分庁舎空きフロア(4～5階)の内部を改修し仕事と運動が両立できる施設となる。この溝口健康増進事業では、5階を使用してのスポーツジム及びカラオケ等コミュニティ施設を収益事業として運営する。 (施設概要) 運動施設(5階) (403.46㎡) 【内容:フィットネススペース(マシン内容:有酸素マシン4台、筋力マシン3台、ストレッチマシン4台、振動マシン2台)】 【内容:カラオケスペース(2室)、セルフカフェスペース(コーヒーマシン1機・自販機1機設置)】 ※フィットネススペースには芝生スペースでのレッスンや大型モニターによるバーチャルレッスンが可能 (事業概要) ①会員獲得のための販売促進 ②運動施設の管理運営(マシンメンテナンス、ショートレッスン他) ※令和3年1月より、バーチャルレッスン(映像プログラムレッスン)開始 ③カラオケ、セルフカフェスペースの管理運営 ④その他運営に必要な事業 (収支予算) 【収入】 ①利用料収入 5,294 千円 ※会員数(15～65歳未満) 105名/月平均(フィットネス会員) 会員数(65歳以上) 20名/月平均(フィットネス+仕事会員)で算出 ②町補助金収入 3,651 千円 ③雑収入 186 千円(コーヒーサーバー他売上げ) 合計 9,131 千円 【支出】 ①人件費支出 5,819 千円(フルタイム2名(内1名パル兼務)、パート1名) ②事業費支出 2,077 千円(消費税 200千円、法人税 0千円含む) ③事務費等支出 641 千円 ④繰入金支出 594 千円(ワーキング事業へ436千円、法人運営事業へ158千円) 合計 9,131 千円 当期資金収支差額 0 千円					